

多様な人材を活用したダイバーシティ経営を実現 企画・制作・販売までの社内一貫体制

国内外から仕入れたインテリア商品の加工販売会社。元来地場産業である線材加工業者だったが、事業承継と共にインテリア用品を扱うブランドを確立。先代が築き上げた技術を活かし商品に手を加えることで、他社にない高付加価値商品を提供し、現在では売上の80%を自社ブランドが占有。また『ものづくり』だけでなく、ブランドを活かしたカフェ運営、さらには工務店事業まで手掛けることで、多様な人材を経営に活かし市場拡大を実現する成長企業。

- | | | | |
|----------|---|--------|-------|
| ● 所在地 | 大阪府八尾市神武町1番36号 | ● 設立 | 1963年 |
| ● 電話/FAX | 072-922-8789/072-922-8788 | ● 資本金 | 300万円 |
| ● URL | https://tomoyasu.co.jp/ | ● 従業員数 | 85人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 友安 啓則 | | |



互いの強みを認め合い、活かすダイバーシティ経営

急速な事業拡大において、多様な人材の活用が不可欠であり、以下を重点的に実施している。まず、女性が活躍できる環境作りに関しては、産前産後休暇・育児休業は勿論、時短勤務や業務フォローの体制を整備するとともに、女性の管理職登用にも力を入れており、管理職7名中6名が女性である。また、アメリカ人、台湾人、イタリア人を1名ずつ雇用するなど外国人雇用にも力を入れており、現在、動画制作やWEBカタログ制作、翻訳など外国人ならではの発想と語学力を活かしながらクリエイティブに活躍している。さらには、高齢者雇用では定年制度を70歳に延長し、60歳以上でも給与引き下げは行わないなど、長年培った知識や経験は会社の財産であると捉えている。



クリエイティブな職種に外国人を積極採用

牽引するだけでなく、従業員と共に成長する企業経営

急速に成長する企業において、従業員と意思疎通を重視。半期毎に、全従業員が面談シート(自己評価、分析、啓発、目標)を記入し、社長と面談を実施。成長する会社の中で必要な変革(新社屋を建てて、社員毎のパーソナルスペースを確保してほしい等)をボトムアップで汲み取っている。また賞与も面談を踏まえ社員毎に社長自ら個別査定コメントと共に支給することで満足度を高めている。さらに従業員同士でも半期に一度ずつ努力を称える相互投票のアワードを実施。別途賞与を支給することで、別角度からのモチベーション向上も図っている。



従業員の声から実現した新社屋オフィス

ブランド戦略を実現する多様な人材による社内一貫体制

商品開発では、企画から制作・プロモーションまで社員が一貫して対応している。これにより保有する線材曲げ機や印刷機などを備え、仕入れ材料に加工することで、独自性を持った製品を安価に提供することが可能である。また、商品を撮影するスタジオや撮影機材を持つだけでなく、ウェブデザイナーも多数在籍するため、商品カタログや動画などを社内で製作できる。「使い方」も含めたプロモーションが可能となりネットを中心に販売まで実施する販売力、そして実際に施工できる優位性を持つ、といった多様な人材を確保することで、一貫したブランド戦略を実現している。



自社商品でのトータルコーディネート